

1. 調査報告概要表

作成日平成20年 6月 6日

【評価実施概要】

事業所番号	4774800033
法人名	有限会社 美ら心
事業所名	グループホーム あさぎりの里
所在地	沖縄県宮古島市下地字洲鎌518-1 (電 話) 0980-74-7737

評価機関名	沖縄県社会福祉協議会
所在地	沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1
訪問調査日	平成 20年 5月 27日

【情報提供票より】(平成20年4月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成) 17年 9月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 9人, 非常勤 人, 常勤換算 4 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費10,000 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4) 利用者の概要(4 月 14 日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2		1 名	
要介護3	5 名	要介護4		2 名	
要介護5		要支援2			
年齢	平均 87 歳	最低	80 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	宮古島徳州会病院
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広々とした敷地内に建てられた、築3年の新しい建物が、ひととき目を引く事業所である。敷地内には季節の花々が植えられ、さらに引き立たせている。コの字型の中庭もあり、共用空間や居室全体に自然採光が取り入れられ、明るく居心地の良い空間作りとなっている。又、共用空間には、利用者と一緒に作ったちぎり絵の大作や、写真、利用者が書いた書道等が飾られ家庭的な雰囲気をかもし出している。さらに、利用者のゆったりとした表情や職員のおだやかな態度から、管理者の指導力が伺える。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と今後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	職員全員で前回の改善課題に取り組んできた結果、敷地内には台風に近い木々や季節の花々が植えられている。共用空間には、利用者と共に作り上げたちぎり絵や写真、書道等が飾られている。介護計画作成担当者は今年4月に交代し、きめ細かな介護計画が立てられ、利用者のケアに活かされている。契約書は内容が不十分で、これからの取り組みに期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	外部評価に向けての自己評価を、職員全体で取り組む事により、ケアの振り返りや見直しが出来、サービスの向上に繋がっている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	これまで運営推進会議が開催されていないのが現状である。市の担当者と協働し、メンバーを早期に取りまとめ、今年度中には会議が持てる事を希望する。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	日ごろから面会に来られる家族とのコミュニケーションを図り、信頼関係を深め、話しやすい雰囲気作りに努めている。出された意見等はミーティングで話し合い、サービスの向上に繋がっている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	児童館との交流や、中学生の体験学習を受け入れている。又近隣のスーパーや駐在員とは顔なじみとなっているが、地域の行事への参加がまだできていないので、その体制作りを希望する。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者は地域密着型の意義を理解しており、“日々のケアの中で大事にすべき事は何か”を念頭において、独自の理念を作りあげている。そして、人目に付きやすい廊下の壁に掲示し、職員や家族、来所される方々の目に触れるようにしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月のミーティングで理念を読み上げ、職員全員で確認しあっている。又毎月の勉強会において、理念の具体的な取り組みについて話し合い、申し送り簿に記録して、職員全員への浸透を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月の児童館訪問や、地元中学生の体験学習の受け入れ、又近隣のスーパーの方とも顔なじみになっている。しかし、自治会や老人会などの地域の活動にまだ参加ができていない。	○	自治会の役員を運営推進委員に選定し、地域の情報収集や行事への参加に協力してもらい、交流を深めて行く事を期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価に向けての自己評価を、職員全体で取り組む事により新しい気付きがあり、ケアサービスの質の向上に繋げている。又前回の外部評価で指摘された項目は、殆ど改善されているものの、契約書に関しては内容が不十分である。	○	グループホームの利用契約書の意義と重要性を認識し、早急に改善する事を期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開設以来これまで、運営推進会議が開催されていない。これから市の担当者、地域包括支援センター、自治会、民生委員等に呼びかけていく意向である。	○	市の担当者と協働し、今年度中に初回運営推進会議を開催される事を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>これまでは事業所内の業務雑事に追われ、市の担当者へ相談、指導を受ける機会を持てなかった。しかし、今年4月からは介護計画作成担当者が経験豊富な方との交代で、今年度はゆとりができ、市の担当者へ積極的に働きかけたいとの意欲がみられる。</p>	○	<p>市の担当者や包括支援センターへも働きかけ、連携を深めつつ、事業所の質の向上に繋げていける事を期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者個々の毎日の暮らしぶりを記載した「ホーム便り」を毎月発行し、家族訪問時に手渡ししている。本人の明るい話題を見つけ出して記録し、家族とのクッション的役割を作り出している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族訪問時に声かけをし、不満や苦情を言いやすい雰囲気作りに努めているが、言い難い場合は苦情箱の存在と市の窓口の紹介をしている。意見や不満が出た場合はミーティングで話し合い、日々のケアに活かしている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職を最小限にする為、職員は全員正職員とし、地元で家庭を持っている方を優先させている。新職員には、出来るだけ早く利用者との信頼関係が築けるように配慮している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員は、島内での研修には積極的に参加している。又、受験資格者には、介護福祉士や介護支援専門員の資格取得に向けての研修の機会を作るように努めている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者と介護計画作成担当者は、同業者との勉強会で交流がある。これからは、職員にも同業者との交流の機会を作りたい、との希望を持っている。</p>	○	<p>出来るだけ早い時期に、職員参加型の交流の場が広がる事を望みたい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族に事業所を訪問してもらったり、スタッフが自宅や入院先にくり返し訪問し、信頼関係を築きながら安定した利用に移行している。又、緊急で受け入れる事もあったが、家族に時々来てもらい、時間をかけ丁寧に対応して、認知度の改善に繋がり、自宅に帰られた事例は評価したい。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者には人生の先輩と敬い、方言や料理方法を教えてもらい、昔話も聞かせてもらったりして、家族同様楽しみを共有している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	公文学習法を取り入れることにより、介護度や認知度の改善が見られ、自己表現がより活発になった利用者もいる。又、困難な方には、本人の意向把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	これまで介護計画が上手く出来なかったが、今年4月担当者の交代で介護計画が充実してきている。その都度本人や家族の意向を聞き、毎月職員全員でミーティングをもち、介護計画に活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	今年4月からは、利用者本位の介護計画が立てられている。繊細な変化に対しては、職員や家族と話し合い、見守りながら必要に応じて介護計画の見直しがされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の要望に応じた支援は、日常的に行われている。又、リハビリ体操や家族の外泊の支援も行っているが、地域との交流がまだ少ない状況にある。	○	地域と密着した交流を通して、お互いが支援できる関係構築を望みたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期健診は出来るだけ家族に付き添ってもらい、6ヶ月に1回かかりつけ医で行われている。病気の重度によっては、県立病院を紹介する事もある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階から家族やかかりつけ医との綿密な対策を話し合い、対応している。又去年97歳の利用者の看取りの経験もある。しかし、看取りに向けた文章による確認書の作成がまだ出来ていない。	○	重度化に伴う意志確認書を作成し、家族の同意のサインをもらっておく必要があると思われる。又、夜勤者1人でも対応できる体制作りを希望する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、本人の話に穏やかな言葉づかいで対応し、個人の尊厳に配慮されている。個人情報の取り扱いにも十分留意されており、又、家族には個人記録の開示もされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかな1日の流れはあるものの、食事や入浴等、本人の希望やペースに合わせて対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	近隣から季節の旬な野菜の差し入れや、事業所内で収穫した野菜を工夫して、利用者と職員と一緒に食事の準備や後片付けをしている。又、同じテーブルを囲み会話をしながら、食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めてあるものの、本人の希望やペースに合わせている。ひとり一人個室入浴とし、プライバシーへの配慮をしている。又、入浴を拒否する時は、無理強いせず清拭と更衣で清潔に保つ工夫をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	習字の得意な方の作品を壁に飾ったり、野菜の下ごしらえや調理、そして後片付けなど、本人が楽しみながら出来る事の支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者と一緒に近隣のスーパーへ買い物に出かけたり、事業所内の畑の草取りをする事もある。又、ドライブを兼ねて車で40分程のデイサービス事業所へ出かける事もある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠せず、すべて開放している。中庭にベンチを置き、いつでも自由に入出入り出来る様にしている。事業所外に出る方については、近隣の方々には顔を覚えてもらっているので、連絡をしてくれる事もある。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	今月初めて防火訓練を行ったが、消防署や地域の方々との協力体制がまだ出来ていないので、事業所内だけの訓練となった。	○	消防署や地域の方々への働きかけはしている様だが、更なる要請を希望する。又、運営推進会議を早急に開催して、そこで問題の提起をするのも1つの方法かと思われる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量を一覧表にし、常にチェックしている。又、6月からは体重やバイタルチェック、食事量、水分量等を一覧表にまとめる準備が出来ていて、更なるケアの向上が期待できる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自然採光や風を十分に取り入れ、共用空間にはソファも置かれており、入居者が思い思いに過ごしている。又前回の外部評価をもとにチームで取り組み、写真や書道そして利用者と共に作り上げた、ひまわりの大型ちぎり絵等を飾り、明るく居心地の良い空間を作り出している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真を飾ったり、好み小物や草花を自分なりに飾りつけて、本人が居心地よく過ごせる工夫をしている。		